

この度は、GT7をお買い求め頂きまして誠にありがとうございます。

この日本語説明書と英文マニュアルをよくお読み頂いた上でお使いください。

ノバック開発チームは、GT7のデザインに際し、世界のスピードコントローラーマーケットを一世風靡したサイクロンシリーズよりも、より良い物にするにはどうしたら良いかと言う課題を基に煮詰めあげて来ました。

GT7をサイクロンと比較した場合、大きさ、重量共に70%のスケールながらもハイパフォーマンスを実現しました。

キーワード、スティナリィ、ホダップなどの世界の名だたるトップレーサーとノバックのGT7開発チームが協力し、レースに応じた7種類のファクトリーセットを内蔵しました。

新しいユーザープログラム・モードは5つのドライブ・プロファイル（前進側の周波数）、5つのブレーキ・プロファイル（ブレーキ側の周波数）、ドラッグ・ブレーキ（ニュートラル・ブレーキ）のオン、オフ設定（オンの場合のみブレーキ周波数が5つ変更可能）、7つの最小ブレーキ作動値により約1300通りの出力特性の組み換えが可能です。

この事により前進、ブレーキ共に好みのお好みのスムーズなセットが可能です。

1から23KHzまでの周波数が選択できます。

※ユーザープログラム・モードは7番目のファクトリー・プロファイルにて変更が可能です。

（この時、ピットウィザード等は必要ありません）

スペック

サイズ 34.5×28.3×16.8mm
 重量 26.26g
 入力 4-6cell(1.2V/cell)
 最大電流（前後進） 640A
 最大ブレーキ電流 160A
 内部抵抗 0.00058Ω
 B.E.C.電圧 6.0V (DC)
 B.E.C.電流 3.0A
 出力周波数 1-23kHz
 ワンタッチセットアップ
 ON/OFFスイッチ
 モーター制限なし（容量内に限り）
 大容量高性能ブレーキ
 大容量送電ターミナル、大容量BEC

表1 7種類の工場ファイル内蔵 *工場出荷時の設定値
 （内6種から簡単にセットアップ。プロファイルNo.7のみ書き換え可）

プロファイルNo.	7	1	2	3	4	5	6
用途	スリック トラック (書換可)	スムース モディファイド	アグレッシブ モディファイド	スムース ストック	アグレッシブ ストック	オール	4Cell
前進の周波数(kHz)	23	15	11	7.5	4.5	3.5	2
最小駆動開始値(%)	1	3	2	2	4	3	3
ブレーキの周波数(kHz)	5.5	3.5	4	5.5	5.5	1.5	3
ニュートラル範囲(%)	20	20	20	20	20	20	20
スムーズ ←————→ アグレッシブ							

ノバック純正オプションパーツ

#1560 パワーキャパシター ¥400
 #979 ショッキードायオード ¥480
 #978 モーターキャパシター ¥780
 #968 14Gワイヤー 3本セット ¥580
 #1562 専用レーザーワイヤー 114mm ¥680
 #1563 専用レーザーワイヤー 228mm ¥780

表2 ドライブプロファイル 5種類（プロファイルNo.7 書換用）

	1	2	3	4	5
前進の周波数(kHz)	1	5.5	12	15	20
最小駆動開始値(%)	3	3	3	3	2

表3 ブレーキプロファイル 5種類（プロファイルNo.7 書換用）

	1	2	3	4	5
ブレーキの周波数(kHz)	2.5	3.5	5.5	8	11

表4 ドラッグブレーキプロファイル 5種類（プロファイルNo.7 書換用）

	1	2	3	4	5
ドラッグブレーキの周波数(kHz)	2.5	3.5	5.5	8	11
ブレーキの周波数(kHz)	2.5	3.5	5.5	8	11

☆使用上の注意

- 1.アンプ（GT7）は水や水分をきらいます。また、基盤や外部に改造を加えないでください。故障の原因となります。
- 2.使用時には、必ず送信機側よりスイッチを入れ次にアンプを入れます。切る時は逆にアンプから先に切ります。
- 3.バッテリーは4-6CELLで使用ください。
- 4.極性を間違えない様に配線してください。逆接をするとGT7が壊れます。
- 5.パワーキャパシターは純正の物を必ず取り付けてください。（#1560）
- 6.ショッキー・ダイオードは純正の物を必ず取り付けてください。（#979）
- 7.使用時以外は必ずバッテリーをを外しておいてください。
- 8.ターミナル部等でのショートを防ぐ為、各配線は収縮チューブで絶縁してください。
- 9.シンナー等でのケース洗浄によりケース表面を侵すことがあります。

◇特徴

- ◎低電圧コントロール回路は2Vまで制御可能
- ◎受信優先回路はバッテリーの電圧が負荷によって一時的に低下した場合でも受信器とサーボへの送電を維持します。
- ◎通電性のよいソルダーポストはコードも簡単に取り付けられます。

◇付属品

パワーキャパシター、0.1μFモーターキャパシター、両面テープ、ショッキー・ダイオード、パワーワイヤー、インプットハーネス、パワーキャパシターマウント、ナイロンストラップ、収縮チューブ、設定早見表、ノバックステッカー

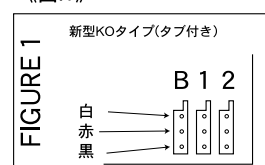
◇受信障害

- §受信器のアンテナは短く切らずにアンテナポスト又はアンテナパイプで正しく取り付けます。
- §モーターコミュニケーターやプランのコンディションが悪くても同じようにノイズの原因となります。

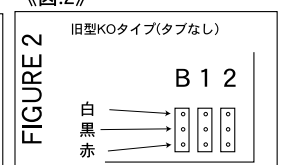
STEP.1

アンプ(GT7)の受信機ワイヤーが使用するレーザーと同じ極性になっているかご確認ください。もしも、違っている場合は図1~5を参考に正しく極性の順番を入れ替えてください。

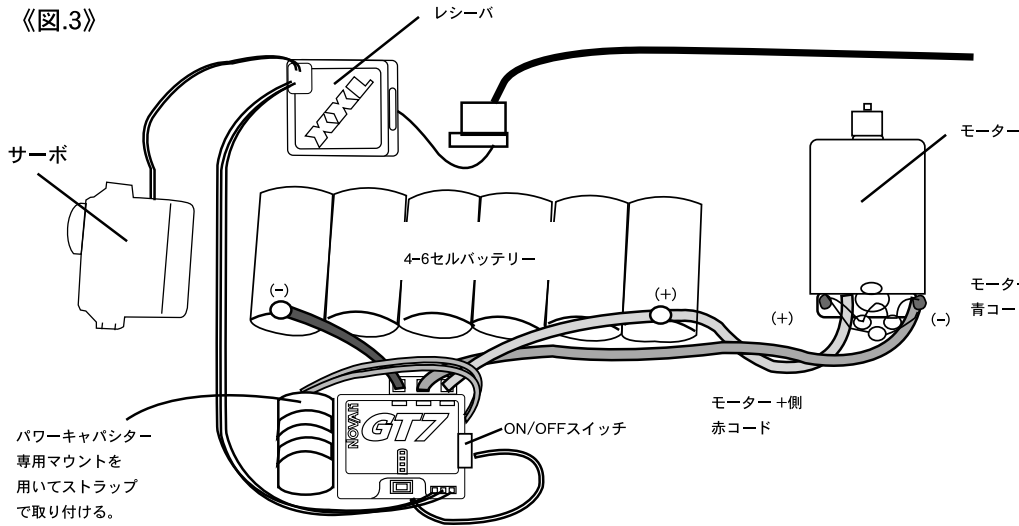
《図.1》



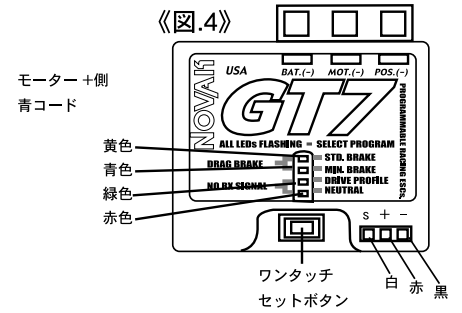
《図.2》



《図.3》



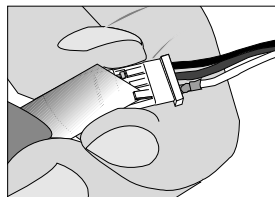
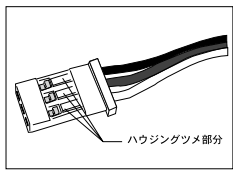
《図.4》



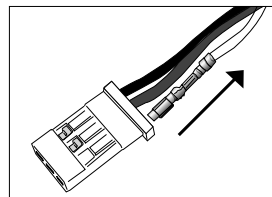
《図.5》

新型サーボワイヤーのコネクター・ピンの交換方法

ワイヤーの引き抜き方

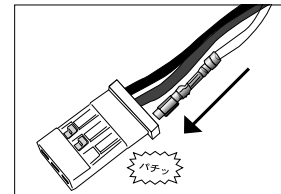


1.引き抜きたいワイヤーのハウジングのツメ部分をカッターの刃などを用いて持ち上げます。
(この時、ツメを折らないように注意してください。)



2.ツメ部分を持ち上げたままワイヤーを引き抜きます。

ワイヤーの差し込み方



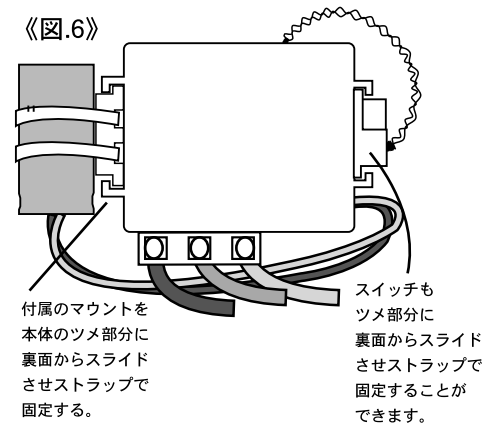
3.上図のようにコネクターをしっかりと差し込みます。
(逆接はとても危険です。故障の原因となりますのでよくご確認ください。)

*フタバへはそのまま使用できますが、サンワ又はKOの旧型受信器には極性が現在と違うものがあります。プロポ側の説明書と共によくご確認ください。

STEP.2 装着方法(図6参)

- 1.装着においては出来るだけパワーコード、レシーバーコードから放して装着ください。
図4の様にパワーキャパシターとスイッチを固定しますが、パワーキャパシターは付属のスライド・パワーキャパシターマウントとストラップで、スイッチはケースにそのままスライドさせて固定します。
- 2.パワーキャパシターを装着したい側のケースにスライド・パワーキャパシターマウントをケース下側からはめ込みます。次にパワーキャパシターとマウントをストラップで固定します。
※6Tから8Tの様な高出力モーターをご使用の場合は必ずGT7からパワーキャパシターまでの細いシリコンコードを出来る限り短くしてハンダし直してください。(極性が有ります。お気を付けてください。)
- 3.スイッチのケースへの装着はスライド・パワーキャパシターマウントと同じ要領でケース下側からスライドさせはめ込みます。
- 4.受信器のアンテナはモーターワイヤー、バッテリー、サーボからなるべく離れた位置にマウントし、短く切らずに立ちあげてください。

《図.6》



STEP.3 接続方法

- 1) 付属の0.1mFモーターキャパシターを3ヶモーターに装着します。
英文の図を参考にして、プラスのモータータブからカンアース、マイナスのモータータブからカンアース、プラスとマイナスのモータータブどうしの3箇所ハンダ付けを行います。
 - 2) ショッキダイオード(1ヶ)の極性に注意しラインの入った方をプラス側に向けてそれぞれをハンダ付けます。
 - 3) パワーキャパシターは予めハンダ付けされています。これは、アンプの効率を引き上げるためのものです。
パワーキャパシターを取り付けないとアンプが壊れる事もあります。パワーキャパシターには、極性がありますので足の長い方をプラス(赤コード)、短い方をマイナス(黒コード)に付けてください。
 - 4) レシーバーワイヤーをアンプに差し込みます。次に反対側のレシーバーコネクターは、受信器のスロットル・ジャックに差し込んでください。
 - 5) セットアップの図を参考にして、パワーワイヤーは、ターミナルに直接ハンダ付けてあります。RED(赤),BLUE(青),BLK(黒),のサインがケースにありますので極性に気を付けて正しく取り付けして下さい。別売で12GA,14GA,16GA.の3種類のコードがありますので用途に合わせて交換して下さい。この時、高温ハンダは使わないでください。
バッテリーへの接続はアンプの赤コードをバッテリーのプラスへ黒コードをバッテリーのマイナスへつなぎます。ただし、ハンダを付ける時にはターミナルに対して加熱し過ぎに注意してください。
 - 6) モーターへの接続はアンプの赤コードをダイレクトにモーターのプラスにつなぎ、(もう一本、赤コードを用いて枝分かれする様に配線しても良いでしょう。)アンプの青コードをダイレクトにモーターのマイナスにつなぎます。
バッテリーやモーターのコネクターは、高品質で抵抗値の少ないディーンズ又はトップレーシングタイプのものを用いて接続トラブルのないようにします。(逆接やショートはアンプにダメージを与えます。)
- § また、バッテリー側にはメスのコネクター、アンプのインプット側にはオスのコネクター、アンプのアウトプット側にはメスのコネクター、モーター側にはオスのコネクターをそれぞれ取り付けてください。

STEP.4

送信機のセットアップ

- A).HIGH ATVまたはEPAは最大にセットしてください。
- B).LOW ATV、EPAまたはATLは最大にセットしてください。
- C).EXPONENTIALは0にセットしてください。
- D).スロットルのリバース・スイッチはどちらの位置でもかまいません。
- E).スロットル・トリムはミドルポジションにセットしてください。
- F).送信機側の電子トリガーの割合は前進70%ブレーキ30%でセットします。
- G).送信機のトリガーは前進2/3、ブレーキ1/3でセットします。

送信機の切角確認方法

このステップは、最高のパフォーマンスを得るのに必要なもので、調整をしなくてもアンプは正常に働きます。

- 1).送信機のスイッチをオンにします。
 - 2)-3).GT7のボタンを押し続けたままでスイッチをオンにします。
 継続してボタンを押し続けたままでレッドLEDの点灯を確認後、レッド、イエロー、ブルーの3つのLEDが点灯まで待ちます。
 - 4).GT7のボタンを放しますとレッドLEDが点灯します。
 - 5).送信機のスロットル・トリガーを最高速にした状態で保ちますとブルーLEDが点灯または点滅します。
 点灯の場合はGT7にとって十分な切れ角といえます。
 点滅の場合は送信機側のハイエンドポイントを点灯に変わるまで増やしてください。
 - 6).送信機のスロットル・トリガーを最大ブレーキにした状態で保ちますとイエローLEDが点灯または点滅します。
 点灯の場合はGT7にとって十分な切れ角といえます。
 点滅の場合は送信機側のブレーキエンドポイントを点灯に変わるまで増やしてください。
- ※セット完了後はスイッチを切ってください。

STEP.5 初期設定

- 1).送信機のスイッチをオンにします。
- 2-3).GT7のボタンを押し続けたままでスイッチをオンにします。
- 4-5).レッドLEDの点灯を確認後、素早くボタンを放します。
- 6).送信機のスロットルをハイポイントに移動しグリーンLEDの点灯を確認します。
- 7).送信機のスロットルをブレーキエンド・ポイントに移動しグリーンLEDの点滅を確認します。
- 8).送信機のスロットルをニュートラル・ポイントに移動しレッドLEDの点灯を確認し完了です。
 1から8の作業を連続的に行ってください。途中で一定以上の時間が経つと入力エラーとなる場合もあります。

STEP.6 ファクトリーセット・プログラム設定

GT7には、7つのファクトリーセットがありボタン操作で選択することが出来ます。（表1参）

ドライブ・プロファイル（前進側の周波数）、ブレーキ・プロファイル（ブレーキの周波数）、
 最小ブレーキ作動値%（ブレーキの効き始め位置）の3つのパラメーターによって成り立っています。各設定値はP1をご覧ください。

スロットル・プログラムの選択方法

（全てをつなげた状態で）

- 1).送信機をオンにした状態でGT7のスイッチを入れます。（レッドLEDが点灯します。）
 （注）この状態で送信機側をオフにするかGT7のレーザー・ワイヤーを抜くとグリーンとレッドが点き信号が来ていないことを知らせます。
 このシステムは、GT7とレーザー間接続のトラブルを警告します。
- 2).4つのLEDが同時に点灯するまでセットボタンを押し続けます。
- 3).4つのLEDが同時に点灯したらボタンを放します。この時、4つのLEDが同時に点灯した数でファクトリーセットのどのプログラムを選択しているかを確認することが出来ます。
- 4).再度ボタンを押すことによりファクトリーセット・プログラムを変更することが出来ます。
 また、連続して幾度か押すことでプログラムを連続変更することも出来ます。
- 5).約3秒以上ボタンに触らざるとニュートラルに戻ります。

表1 7種類の工場ファイル内蔵 *工場出荷時の設定値
 （内6種から簡単にセットアップ。プロファイルNo.7のみ書き換え可）

プロファイルNo.	7	1	2	3	4	5	6
用途	スリック トラック (書換可)	スムース モディファイド	アグレッシブ モディファイド	スムース ストック	アグレッシブ ストック	オーバル	4Cell
前進の周波数(kHz)	23	15	11	7.5	4.5	3.5	2
最小駆動開始値(%)	1	3	2	2	4	3	3
ブレーキの周波数(kHz)	5.5	3.5	4	5.5	5.5	1.5	3
ニュートラル範囲((%)	20	20	20	20	20	20	20
スムース \longleftrightarrow \longrightarrow アグレッシブ							

STEP.7 最小ブレーキ作動値設定

7番のファクトリーセット・プログラムより最小ブレーキ作動値%（ブレーキの効き始め位置）を独立して変更することが出来ます。
 20,30,35,40,45,50,55%の7つの異なった値より選択できます。

最小ブレーキ作動値 (%)

- 1).送信機をオンにした状態でGT7のスイッチを入れます。
- 2).4つのLEDが同時に点灯するまでセットボタンを押し続けます。
- 3).継続しボタンを押したままの状態4つのLEDが同時に点灯確認すると同時にスロットルのトリガーをフルブレーキにします。ブルーLEDの点灯だけに変わったらボタンを放してください。
- 4).再度ボタンを押すことにより最小ブレーキ作動値 (%) を変更することが出来ます。
 また、連続して幾度か押すことで最小ブレーキ作動値 (%) を連続変更することも出来ます。
 ブルーの点滅の意味は1回が20%,2回が30%,3回が35%,4回が40%,5回が45%,6回が50%,7回が55%となっています。
- 5).約3秒以上ボタンに触らざるとメモリーされ（ブルーLEDが素早く点滅後）他のLEDも点滅し、ニュートラル（レッドLED）に戻ります。

STEP.8 カスタミング・プログラム設定

表2 ドライブプロファイル 5種類（プロファイルNo.7 書換用）

	1	2	3	4	5
前進の周波数(kHz)	1	5.5	12	15	20
最小駆動開始値(%)	3	3	3	3	2

表3 ブレーキプロファイル 5種類（プロファイルNo.7 書換用）

	1	2	3	4	5
ブレーキの周波数(kHz)	2.5	3.5	5.5	8	11

表4 ドラッグブレーキプロファイル 5種類（プロファイルNo.7 書換用）

	1	2	3	4	5
ドラッグブレーキの周波数(kHz)	2.5	3.5	5.5	8	11
ブレーキの周波数(kHz)	2.5	3.5	5.5	8	11

※レシーバーワイヤーをレシーバーから抜いた状態または、送信機をオフにした状態にします。

- GT7のスイッチをオンにします。レッドとグリーンのLEDが点灯します。
- この時、必ず7番のファクトリーセット・プログラムを選択していなければなりません。
不確かならばSTEP.6を行い確認をしてください。
- セットボタンをダブルクリックし4つのLEDが同時に点灯、その後グリーンLEDが点滅します。
この点滅の回数が現在のドライブ・プロファイルを知らせます。
- ドライブ・プロファイルを変更したい場合は点滅を確認後、連続してセットボタンを押すことで可能です。
また、連続して幾度か押すことでデータがスクロールし連続変更することも出来ます。（表2参）
3秒以上ボタンを押さずにいることで次のセットアップに移ります。
- その後イエローLEDが点滅します。この点滅の回数が現在のブレーキ・プロファイルを知らせます。
- ブレーキ・プロファイルを変更したい場合は点滅を確認後、連続してセットボタンを押すことで可能です。
また、連続して幾度か押すことでデータがスクロールし連続変更することも出来ます。（表3参）
3秒以上ボタンを押さずにいることで次のセットアップに移ります。
- また、ここでドラッグブレーキ（ニュートラル位置でのブレーキ）をオンまたはオフにセットをすることが出来ます。
ボタンを押したまま3秒以上たちますとイエローまたはイエローとブルーの点灯が交互に確認できます。
ドラッグブレーキをオフにしたい場合はイエローの点滅で、またはオンにしたい場合はイエローとブルー点滅
を確認後すぐにボタンを放してください。これでセット完了です。
継続して、ドラッグブレーキ・プロファイルを変更したい場合は、ボタンを押す回数によってイエローとブルー点滅
の回数が変更できます。お好みの周波数をお選びください。（表4参）

3秒以上ボタンを押さずにいることで次のセットアップに移ります。
- その後ブルーLEDが点滅します。この点滅の回数が現在の最小ブレーキ作動値を知らせます。
- 再度ボタンを押すことにより最小ブレーキ作動値（%）を変更することが出来ます。
また、連続して幾度か押すことで最小ブレーキ作動値（%）を連続変更することも出来ます。
ブルーの点滅の意味は1回が20%,2回が30%,3回が35%,4回が40%,5回が45%,6回が50%,7回が55%となっています。
- 全てのセットが完了したら、LEDが上下に点滅しながらスクロールします。セットに間違いが無ければLEDスクロール中に素早くボタンを
押すことでニュートラルに戻ります。また、そのまま放置しても、STEP.8の4から10のプロセスを3回繰り返した後に同じくニュートラルに
戻ることが出来ます。
設定もれがある場合はLEDスクロール後、グリーンLEDが点滅（STEP.8の3）に戻り、再度設定し直したい項目があればその入力変更を行います。
セットに間違いが無ければ次のLEDスクロール中に素早くボタンを押すことでニュートラルに戻ることが出来ます。

☆その他、ご質問がございましたらイーグル・サービスカウンター service11@eaglemodel.comまでお気軽にお問い合わせ下さい。

☆修理サービスにつきましては、イーグル・サービスカウンターで行っていますのでお問い合わせ下さい。

〒440-0842
愛知県豊橋市岩屋町6-2-79
株式会社 イーグル模型
0532-61-1554まで

☆製品保証につきましては、一部アメリカ国内保証と異なりますが、ほぼノバック保証に準じて処理させていただきます。
保証依頼の場合はディーラーステッカーが必要になりますので購入後必ずアンプの側面にはっておいて下さい。

☆ディーラーステッカー↓